

平成 29 年度 神奈川県立鶴見養護学校 不祥事ゼロプログラム

神奈川県立鶴見養護学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、不祥事ゼロプログラムを定め、毎月不祥事防止会議を開催し、年度末に検証を行う。

1 実施責任者

神奈川県立鶴見養護学校不祥事ゼロプログラムは、全職員で取り組む。実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は、校長及び副校長、教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目的及び行動計画 (表 1 参照)

※平成 29 度は 5 項目について重点的に取り組む

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）
- ② わいせつ・セクハラ行為の防止
- ③ 体罰、不適切な指導の防止
- ④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- ⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

3 実施の検証

行動計画について11月に検証を行い、未実施の項目について補完措置を講ずる。また、各目標達成に向け行動計画を追加・修正する必要がある場合は、必要な追加・修正を行う。

なお、行動計画について最終検証を平成30年2月に行う。自己評価を行い、実施結果をまとめる。

4 実施結果等の報告

作成した実施結果及び不祥事ゼロプログラムを学校のホームページに掲載する。

平成29年度 鶴見養護学校 不祥事ゼロプログラム

項目	目標	行動計画（重点的に取り組む事項）	年間評価（3月）
① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	職場や職場以外でも教員や公務員であることをいつも自覚し、法律やきまりにしたがって行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通知や新聞報道等の不祥事防止啓発資料を提示し職員の意識向上を図る。 ○ 服務などについて日常的に説明を行い、自覚をすることができるようにする。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 報告・連絡・相談を日常的に行う。 	
② わいせつ・セクハラ行為の防止	相手や周囲の人の気持ちを理解し、適切な言葉がけや関わりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ セクシャルハラスメントについての理解を深め、その防止を図る。 ○ 児童生徒の発達段階や生活年齢を考慮した言葉がけや環境設定を行う。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 啓発資料等の掲示、配布をし意識の向上を図る。 ○ 外部講師を招いた研修会を実施する（1月予定） 	
③ 体罰、不適切な指導の防止	人権意識を高め、児童生徒を尊重した指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年会・ケース会等の話し合いを充実させ、児童生徒理解、指導力の向上、共通理解を図る。 ○ 児童生徒の呼称や丁寧な言葉遣いに注意し、穏やか・肯定的・具体的・シンプルに関わる。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 	
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個別の教育計画や実習関係資料などの作成や管理に注意する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作成過程で生じうる危険について検証し点検を行う。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 作成した文書をマニュアルに沿って適正に取り扱う。 	
⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等の紛失や流失が起らないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子や紙媒体の取り扱いをマニュアルに沿って行う。 ○ パソコン内の環境を整備し、情報の管理を適切に行う。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 個人情報を含む物のダブルチェックを確実にを行う。 ○ 個人情報関係書類の保管場所を改善し日常の点検をする。 	